Practice in Yokodai

取り組みの実践・展開

洋光台地区全体の活性化を図る取り組み「ルネッサンス in 洋光台」は、平成 23 年度から取り組みをはじめ、平成 27 年度には 5 年目を迎えます。

平成 23 年度～平成 25 年度は、アドバイザー会議（Vol.1 参照）やエリア会議・住民ワークショップ（Vol.2）などディスカッション中心の取り組みを行いました。平成 26 年度～平成 28 年度は、これまでに議論し、準備を進めてきたことを具体的なアクションとして起こし、それを通じて様々な試行実験等を行う実践・展開の期間であると捉えています。

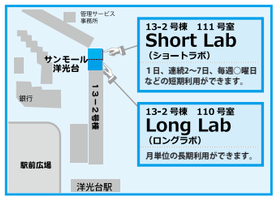
平成 26 年度はその芽だしとして、「駅前の賑わいづくり」「多世代交流・コミュニティ支援」「次世代の育成」「地域との連携」を軸としたアクションを洋光台駅前地区で行い、洋光台地区にお住まいの方、関わりのある方、たくさんの方に洋光台地区の活性化の一歩を肌で感じていただきました。平成 27 年度以降は、それらのアクションが根付き、洋光台地区全体に広がるとともに、新たなアクションへの取り組みを行って行きます。

コミュニティ活動のチャレンジスペース【CC ラボ】

※活動詳細は中面をご覧ください

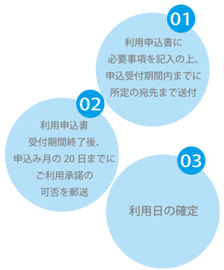
【CC ラボ】は、洋光台地区のコミュニティを元気にする活動の試行実施の場として洋光台中央団地のサンモール広場に面した場所に開設しました。短期間（１～７日間など）利用できる「Short Lab（ショートラボ）」と長期間（１ヶ月単位）利用できる「Long Lab（ロングラボ）」の２箇所があり、成 26 年３月のオープンから平成 27 年３月の約１年間で、約○○の団体・個人の方が約○○の活動を実施しました。

まずは１年間の施行実施の予定でしたが、１年間の試みを通じ、洋光台でのコミュニティ活動に更なる広がりが期待されること、【CC ラボ】での活動を実施される方、参加される方、双方からの存続を求める声が相次いだことから、試行期間を１年間延長することになりました。新たなコミュニティ活動のチャレンジの施行実施の場として洋光台地区が元気になる活動がどんどん生まれ、育っていくことが期待されています。



※平成27年4月改正

	Short Lab（13-2 号棟 111 号室）	Long Lab（13-2 号棟 111 号室）
利用時間	9:30~22:00	
利用期間	1日、連続2～7日間 or 連続しない4日間	1～3ヶ月（月単位）※6月までは1ヶ月利用のみ
申込受付	利用月の２ヶ月前の月の１日～10 日	
利用料金	無料（平成 27 年３月まで）	
利用期間	１階のみ（２階は利用できません）	１階 ２階（荷物置場としてのみ）
設備・備品	エアコン、トイレ、流し台（IH コンロ ×1）	



Happy★ハロウィン in 洋光台 2014

2013 年まで地域の商店街、はまぎんこども科学館、こども施設「洋光台ログハウス」が協力して開催していたハロウィンイベントをもっと多くの方が楽しめる賑わいのあるイベントにしようと、ルネッサンス in 洋光台も参加し、洋光台まちづくり協議会の主催で 2014 年 10 月に開催しました。たくさんの方の尽力・協力もあり、イベントは大盛り上がり、洋光台駅前がたくさんの笑顔であふれました。

開催概要
日時：平成 26 年 10 月 25 日～26 日／場所：洋光台駅前公園こどもログハウス・はまぎんこども宇宙科学館・サンモール洋光台駅前広場・CC ラボ・サンモール洋光台商店街・ショップ 27・その他洋光台周辺店舗／主催：洋光台まちづくり協議会／主な内容：スタンプラリー・CC ラボで巨大カボチャと記念撮影／広場に屋台や大道芸が登場

地球と人にやさしい環境展＠洋光台

Happy★ハロウィンに続く「地域と連携し、洋光台のまちを元気にするイベント」の第２弾として、洋光台まちづくり協議会の主催で開催しました。このイベントの目玉は洋光台の小学生が描いた環境絵日記。約 500 点すべての展示を CC ラボで行うとともに、環境への関心を高めるイベント、環境絵日記をヒントに大人たちが洋光台で出来ることや洋光台の未来について考えるワークショップを行いました。

地球は私たちの家、洋光台は私の庭、
みんな友だち、ここが好き

家族や友だちと
一緒の毎日が楽しい、
遊ぶのが楽しい、
自然の中は気持ちいい、
み～んな守りたい。
みんなが守りたいと思えば
色々なことが出来る。

開催概要
日時：平成 27 年１月 30 日～２月１日／場所：CC ラボ・サンモール洋光台駅前広場・洋光台中央団地集会所／主催：洋光台まちづくり協議会

＊「環境絵日記」は横浜市資源リサイクル事業協同組合の登録商標。

平成 26 年度の取り組み
多世代交流 コミュニティ支援
駅前の 賑わいづくり
次世代の育成
地域との連携

まちのイベント・活動

洋光台地区では地域の方々が主催するイベントや活動がたくさんあります。夏祭りに桜祭り、梅の里まつり、音楽のつどい、各商店会のイベント、プレイパークや防災・・・。新しいイベントもまちを賑わし、今後の活性化につながっていきますが、地域に根付いたイベントも大事にし、育てて行くべきものです。ルネッサンス in 洋光台では、洋光台のイベントのひとつである「梅の里まつり」に平成 25 年から参加させていただき、ルネッサンス in 洋光台の取り組み紹介を続けてきました。平成 27 年は「出張ＣＣラボ」をイメージ、子どもが楽しめる帽子づくりワークショップを実施しました。

洋光台地区諸元

［住　所］	神奈川県横浜市磯子区洋光台 ほか
［面　積］	約207.5ha（洋光台土地区画整理事業区域）
［人口・世帯数］	約2.5万人・約1.1万世帯（H22年国勢調査）
	UR賃貸住宅　計3,350戸
	旧公団分譲住宅　約1,500戸
	市営・県営住宅　約1,500戸
	民間集合住宅　約2,200戸
	戸建て住宅　約2,700戸

RENAISSANCE in 洋光台 03
編集・発行　独立行政法人都市再生機構　東日本賃貸住宅本部 神奈川エリア経営部
制　作　（株）ディーワーク
発行日　2015年６月１日（目標）

本出版物の一部または全部を無断で複写、複製、あるいは転載することを禁じます

RENAISSANCE in
洋光台
（案）03

Practice in Yokodai
取り組みの実践・展開

Community Challenge Lab
CCラボでのチャレンジ

UR　OPEN YOKOHAMA

Community Challenge Lab

CCラボでのチャレンジ

CC ラボは Community Challenge Lab（コミュニティ・チャレンジ・ラボ）の略称です。平成 26 年 3 月から平成 27 年 3 月までに多種多様な洋光台を元気にする活動が生まれました。
CC ラボはただの貸しスペースではありません。洋光台を元気にする試行実験の場ですから、３ヶ月ごとにＣＣラボでの活動を振り返る会「ラウンドテーブル」やＣＣラボで活動された皆さんが集まってつくる「ＣＣコラボ会議（通称ＣＣＣ）」での活動を通じて、より良いＣＣラボ、より良い洋光台での多世代交流・コミュニティ活性化について議論・検討を重ね、洋光台をもっと元気にしていきます。

【洋光台を元気にする活動の施行実施の場】

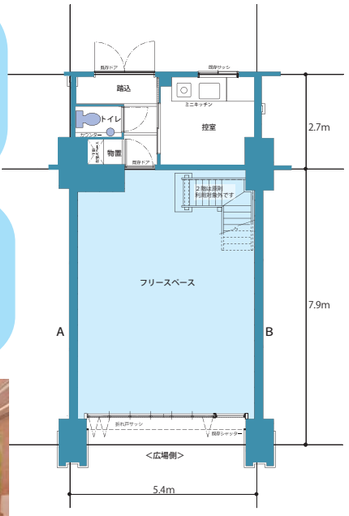
ＣＣラボ
- ショートラボ（短期利用）
- ロングラボ　（長期利用）

【活動の振り返りの場】

ラウンドテーブル
- ＣＣラボ活動者
- 事務局・アドバイザー

【もっと洋光台を元気に、つながりを作る場】

ＣＣコラボ会議
- ＣＣラボ活動者（任意参加）



月１回楽しみにして来てくれる人がいて　初めは小さな声で歌っていた人もだんだんマイクを持って歌いはじめ楽しそうにしている人を見るとこちらも楽しくなります。

ルネッサンス in 洋光台の活動の場

ＣＣラボは洋光台に係わる方々が洋光台を元気にするための活動をする場ですが、ルネッサンス in 洋光台の活動の場でもあります。
ショートラボでは月に１～３日程度、事務局利用日を設け、地域の方々との意見交換をするワークショップや、洋光台のまちあるきや情報発信を考えるオープンワークショップ、次世代の人材を育成する担い手講座、ハロウィンや梅の里まつりの準備などなどを実施しています。時には秘密の会議をしたりもしていますが、基本的にはオープンスタイルで洋光台の活性化につながる活動をしています。普段は洋光台にいない事務局メンバーがいるので、ＣＣラボについての質問を受けたりもしています。

いつもみんなが集える場として

ロングラボは１ヶ月間連続した活動が行える場所です。長期間活動を続けることで、その活動が定着し、常連さんができたり、まちの情報を収集・発信する場という機能が少しずつ見えはじめました。一方で一ヶ月では活動や機能が定着しないという課題も見えはじめ、平成 27 年 7 月からは３ヶ月までの利用ができるように利用規約を改正、新しいチャレンジがはじまります。

商店の方々と知り合ったり、お店を利用して笑顔であいさつを交わすようになった。ラボと商店の交流で、全体で洋光台をなめらかにしていけたらと思う。

大学連携・企業連携の場

ＣＣラボを利用した大学連携・企業連携も行われています。慶應義塾大学加藤文俊ゼミでは、団地の暮らしに着目したフィールドワークを実施。学生たちが洋光台で調査を行い、その途中経過や成果をＣＣラボで発表しました。

また、洋光台や横浜に拠点をおく企業がＣＣラボを利用してＣＳＲの一環として、洋光台を元気にする活動を展開。その内容・対象は企業によって違いますが、子ども向けから高齢者向けまで、幅広い活動が行われました。

活動（活動者）一覧＊ロングラボ＊サンモール洋光台春まつりイベントと子供広場（サンモール洋光台）/ 洋光台交流づくり地域会展示イベント（洋光台交流づくり地域会）/ コミュニティカフェらぶまち洋光台（らぶまち洋光台）/ 地域の絆「摘菜倶（つなぐ）」カフェ（Hug Me）/SHARE HEART CAFÉ（Ａさん）/ 洋光台から発信！みんな地球人だから！「東北支援」と「ようこうだい物語」（Ｂさん）/ ふれあい広場（洋光台地域ケアプラザ、えんがわ）/ こどもとつくる笑顔いっぱい「みんなの居場所」（洋光台にコミュニティカフェをつくる会）/ みんなのひろばきらきらカフェ（Ｃさん）/ いろいろ楽しめる癒しのひととき～みんなの広場（日本総合住生活㈱横浜南支店）/ 帰ってきた帰宅部室（私立洋光台学園生徒会）＊ショートラボ＊サンモール洋光台図書館（サンモール洋光台）/ 洋光台交流づくり地域会展示イベント（洋光台交流づくり地域会）/ 横浜養護協力会展示イベント（Ｄさん）/ 洋光台を元気にする会地域交流イベント（洋光台を元気にする会）/ 映画会（らぶまち洋光台）/ 歌・音楽で繋ごう洋光台, Sing out in Yokodai（Ｅさん）/ 葬祭セミナー（くらしの友横浜南支社）/ 洋光台にゆるキャラを作ろう！（Ｆさん）/ パステル画「愛と光」展（Ｇさん）/ 春のフラワーアレンジメント（ＮＰＯ法人みのりサポート）/ そよかぜ少年団親と指導員の集い（そよかぜ少年団）/ 外部会（Ｈさん）/ ＪＳ手づくり体験（ＪＳ横浜南支店）/ ママ達のおしゃべりカフェ（はぴねす Baby）/10 歳若返るハンドケア体験（Ｉさん）/ みんなで楽しく転倒骨折予防体操（ＮＰＯ法人みのりサポート）/ サンモール洋光台中元福引きイベント等（サンモール洋光台）/ キャンドルナイトワークショップ（らぶまち洋光台）/ 染め体験ＷＳ（森屋本舗）/ ガタゴトウッドカーレースを楽しもう！（ＮＰＯ法人こどもりクラブ）/ サンモール洋光台盆踊りイベントなど（サンモール洋光台）/「夢の洋光台ウッドタウン」壁飾りづくり（ＮＰＯ法人こどもりクラブ）/ 地域との協働・社会貢献を目指す日野中央特別支援学校（日野中央サンモール協力会）/ 洋光台防災フェスタ（（横浜防災ライセンス磯子）/ 夏祭り（中央団地自治会）/ らら♪楽志倶（元気発信・楽志倶の会）/ 絵手紙教室「落ち穂の会」（Ｊさん）/ パステル和アート＆手ぬぐいリメイク（Ｋさん）/ 八っつあん、ご隠居、おばけも出てくる落語会（ＮＰＯ法人みのりサポート）/ みんなでアート作品展（Ｌさん）/ 健やか生活の為の健康つくり講座（Ｍさん）/ タブレット体験会（ＮＴＴ東日本南関東神奈川事業部）/ 健康講座「薬に頼らない生き方」（Ｎさん）/ 染め＆布小物作り「テシゴトＷＳ」（森屋本舗）/ 洋光台アート寺子屋（Ｏさん）/ アートひろば（Ｌさん）/ アーブレの健康つくり体験（ライフサポートワーカーズ・コレクティブ樹）/ 洋光台ミニ四駆大会「みにｙｎ！」（Ｐさん）/ 自由自在「わたしだけのエンディングノート」（小さなクローバーの会）/ 彩遊会作品展（Ｑさん）/ 相続セミナー～のこされるご家族のために～（Ｒさん）/ 物作りと地域交流（たすけあい磯子）/ 洋光台男声合唱団ミニラボ（洋光台男声合唱団）/ 横浜アーバン・パーマカルチャー講座（ウェル洋光台）/ ショートラボ 12 月分まで

私の活動でまちを元気に！

ショートラボは１～７日間の活動が行える場所です。ロングラボのように１ヶ月連続ではないので、自分が今やっている活動や取り組み、趣味などをショートラボで披露することによって、洋光台の人を取り込み元気にしていこうという気持ちが見えました。自分が楽しんでいることを発信、知って貰って仲間になって楽しんでもらいたい、自分の活動や知識を通じて、元気になってもらいたい。本当にさまざまな想いのこもったたくさんの活動が展開されました。

子育て中の母親がささいな事でも相談できる場がある事で、それをきっかけに、本当に困っている事の相談につなげる事が出来て、本当にやって良かったと思うと同時に、「もう終ってしまうの？」という声も多く聞かれて、この様な場の必要性を強く感じました。

若い世代も活動中！

洋光台地区・洋光台周辺地区の大学生・高校生がＣＣラボを使って、自分たちを含めた若い世代が楽しめる活動を行っています。団体名は「私立洋光台学園生徒会」。まずはＣＣラボを拠点に洋光台全体をめぐる「洋光台迷走ラリー」。そして、5 日間で約 200 人を集めた「帰宅部室、開放」。小学生～大学生・大人までが楽しめる活動を若い世代が楽しんでやっています。

ラウンドテーブル・ＣＣコラボ会議

ラウンドテーブルはＣＣラボで活動した活動者のつながりの場として、また、ＣＣラボでの活動の振り返りから活動の成果や課題、ＣＣラボの課題などを意見交換して、より良いＣＣラボ、より良い洋光台を考えるです。
そこで「洋光台を元気にするということをもっと力強いものにしたい」「利用団体が協力してフェスティバル的なことができれば」「事務局まかせにせず、自分たちでやる、発信する」という意見が出され、ＣＣコラボ会議（通称ＣＣＣ）が発足。ＣＣＣＣラボや自分たちの活動を広く知ってもらい、洋光台をもっと元気にするためのイベント「ＣＣラボ開設だいたい１周年イベント」を企画・実施しました。

ＣＣＣイベント写真

地域に開かれたこのような場があるとよいと思います。
気軽に集うことができて、自分のやりたいことをやる→仲間ができる→そこから何かが生まれる→活性化していくことになるのでは。